

輪高図書館だより

輪島高校図書
令和4年3月
No.195

図書館掲示版

3月は旧暦で **弥生**

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

人生出会いあり、別れあり、これから沢山の事を経験して、成長するのでしょう。

図書館でも、本の中で出会いや別れを体験したでしょう。これからも本を読む自由の中で自分ひとりの体験だけでは不可能な経験をして、良い人生となりますようにと願います。

図書委員の皆さんも、ありがとうございました。

百人一首より春の歌を紹介します。

「君がため 春の野に出でて 若菜つむわが衣手に 雪はふりつつ」
光孝天皇

あなたのために春の野で若菜を摘んでいましたら、春なのにちらちら雪が降ってきて、雪が私の着物の袖にも降りかかっています。（それでも、あなたのことを思いながら、こうして若菜を摘んでいるのです）あなたのためにつきと誰かがおもっているはずです。

【あたらしく入った本】

『ペイント』 イ・ヒョン/著 小山内園子/訳 イースト・プレス

『生命式』 村田沙耶香/著 河出書房新社

『府中三億円事件を計画・実行したのは私です。』 白田/著 ポプラ社

『地球環境の事件簿』 石弘之/著 岩波書店

『シユレインガーの哲学する猫』 新崎三幸/著 イースト・プレス

『100万回死んだねこ』 福井県立図書館 講談社

『答えは風の中』 重松清/著 朝日出版社

『批評の教室』 北村紗衣/著 ちくま新書

『あの夏の正解』 早見和真/著 新潮社 他多数